指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市宮前スポーツセンター	評価対象年度	平成25年度		
事業者名	株式会社明治スポーツプラザ・公益財団法人川崎市 スポーツ協会共同事業体	評価者	宮前区役所地域振興課長		
指定期間	平成23年4月1日~平成28年3月31日	所管課	宮前区役所地域振興課		

2. 事業実績

<u> 2. 尹未</u>	天 根													
	利用実績(単位:人)	4月 14,524	5月 15,145	6月 20,017	7月 20,50	8月 3 14,752	9月 23,650	10月 17,546	11月 23,806	12月 14,122	1月 14,299	2月 21,706	3月 30,420	合計 230,490
				収入		指定管理 利用料金 事業収 <i>フ</i>	全収入	<u>,</u>		44,70 22,20 36,54	6,305			
	収支実績 (単位:円)			支出			収入合計 管理運営費 支出合計			103,454,154 83,782,101 83,782,101				
					収	支差額				19,67				
サー1	ビス向上の取組	●教室参加者からのアンケートや施設利用者の声を集め、ベテラン職員から若手職員までで構成する検討部会により、アンケート結果や利用者の声を分析・調査し、施設運営や顧客満足度の向上に取り組んでいる。 ●出勤した全職員が、毎回心肺蘇生法の訓練を行うことにより、利用者に事故等が起きた際に迅速に対応ができる体制を整えている。 ●トレーニングマシンの修理中は、修理が必要となった原因や修理内容、修理完了予定日を掲出し、安全に使用していただき、またご理解を得るために施設利用者へ周知している。 ●施設利用回数券は、利用しやすい100円券12枚つづりを1,000円で販売し、利用者の利便性向上を行っている。 (7,084組販売)												

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階 (加点割合)	評価点					
総合的な運営状況	基本方針	公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割や目的を果している か。	5	3 (0.6)	3					
	事業成果	事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。	5	3 (0.6)	3					
	(評価の理由) ●本施設の目的を達成するため、幼児から高齢者までがスポーツを楽しめる事業を推進し、また地域コミュニティの核として、地域サークル活動や川崎フロンターレ、総合型地域スポーツクラブ等の紹介、近隣小中学校との連携を行っている。 ●スポーツ教室でのアンケート調査や施設利用者からの声の収集、外部委託によるアンケート調査を行い、事業成果の測定とともにスポーツ教室の見直しを行っている。(新たに6教室を開催) ●昨年度より109.1%の利用者増であった。									
	維持管理等の再委 託	施設利用提供に支障をきたすことが無いよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	3 (0.6)	3					
	休館日·開館時間	安全で適正な管理運営を確立するとともに、利便性や利用サービスの向上に留意し た施設提供を行っているか。	5	3 (0.6)	3					
	利用料金	公平性・平等性及び受益者負担について留意し利用料金の設定を行うとともに、利 用者の利便性や利用サービスの向上を図っているか。	5	3 (0.6)	3					
管	諸施設の活用と提 供サービス	効果的な諸施設の活用及び提供サービス(飲料・補食品の販売を含む)の向上を 図っているか。	5	4 (0.8)	4					
理業	個人情報保護や情 報公開	個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。	5	3 (0.6)	3					
務の実施状況	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	4 (0.8)	4					
	人員配置	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備され、 円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。		3 (0.6)	3					
	職員研修	各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。	5	3 (0.6)	3					
	危機管理	利用者の安全の確保及び有事の際の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。	5	3 (0.6)	3					
	(評価の理由)									

- ●限られた駐車場、駐輪場に対する利用者からの低い評価に対し、近隣時間貸し駐車場マップの作成や公共交通機関の利用促進を促すため、交通アクセスの説明を行うなど、指定管理者では改善が難しいハード部分に関し、ソフトで対応を行っているため。 ●昨年から引き続き、スポーツ教室案内を区内全域(6,800部)に拡大することで、区のスポーツセンターとしての認知度が高まり、年間利用者数が前年より、19,321人、109.1パーセントと増加しているため。

事	施設利用提供業務	生涯スポーツ振興を図るための施設利用提供を行っているか。	5	3 (0.6)	3
	個人開放事業	生涯スポーツ振興を図るための個人開放事業(トレーニング室を含む)を実施しているか。	5	3 (0.6)	3
	教室等事業	生涯スポーツ振興を図るためのスポーツ教室やイベント等事業を実施しているか。	5	4 (0.8)	4
	スポーツ情報提供 及び相談業務	生涯スポーツ振興を図るための情報の提供及び相談業務等を行なっているか。	5	3 (0.6)	3
	指導者・ボランティ アの育成	地域スポーツ指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施している か。	5	3 (0.6)	3
	総合型地域スポー ツクラブの支援	総合型地域スポーツクラブの活動支援を行っているか。	5	4 (0.8)	4
	自主事業に関する 事項	利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。	5	3 (0.6)	4
	(評価の理由)				

- ●教室事業に関しては、指定管理運営当初の19教室から32教室へと増加し、既存教室の充足率も88%と昨年度の高い充足率を維持し ている。また年間の教室受講者も昨年度と比較し、約16%増加しているため。これらは、指定管理者が持つノウハウと当施設の利用 者動向を分析し、利用者に人気がある教室、健康増進等の教室が区民に受け入れられていると考える。
 - (平成23年度充足率:79%、平成24年度充足率:89%、平成25年度充足率:88%)
- ●区内にある総合型地域スポーツクラブ役員会へ出席し、クラブ運営に助言を行うとともに、自主事業で開催する「みやすぽフェス タ」では、当クラブと連携した事業を実施している。また、総合型地域スポーツクラブ準備クラブとの連携も始めており、スポーツ センターを活用した事業について協議を行っている。また、それぞれのクラブが主催する事業チラシ等の掲出を行っている。
- ●自主事業では、宮前区内4校の中学校のほか、麻生区や多摩区、高津区内の中学校からも職場体験を受け入れ、7校50名の生徒が貴重な体験を行うことができた。また、隣接する犬蔵中学校との連携や南菅生自治会との防犯夜間パトロールなど、若い世代への スポーツ意識の向上や青少年育成等、地域との連携・協力を行っている。

収支状況	安定性	収支計画に基づく安定した運営を行っているか	5	3 (0.6)	3		
	効率性	サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。	5	3 (0.6)	3		
	(評価の理由) 予算と決算の比較増減があるが、単年度内で調整し、適正に執行していると評価する。						

4. 総合評価

評価点合計	65	評価ランク	С
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- ●指定管理者として3年目となり、指定管理者が持つノウハウを活かした事業展開がされており、総利用者数も増加傾向にある。
- ●施設・設備の維持管理も計画的に保守点検が実施され、館の運営に支障がないよう管理されている。
- ●所管課とも定期的な打合せを行い、お互いが連携し施設の維持管理、サービス向上、館の目的等を意識した管理運営がされている。 ●区内スポーツ施設の核として、総合型地域スポーツクラブへの支援や地元出身の各種プロ選手の紹介、また中学生の職場体験受け入れな
- ど、地域とも連携した取り組みを行い、公の施設として宮前区のスポーツ推進に寄与している。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- ●指定管理も4年目となるため、事業がマンネリ化しないよう利用者ニーズを見極め、指定管理者が持つノウハウを最大限活用し、多くの区 民がスポーツに親しめる運営を行うこと
- ●地域コミュニティの場として、施設を利用しない区民が気軽に立ち寄れ、またその方たちがスポーツや健康維持に興味が持てるような運営
- ●総合型地域スポーツクラブや地域スポーツ団体などの支援を行い、地域に根付いた運営を行うこと
- ●宮前スポーツセンターも開館から8年目を迎えます。日頃のメンテナンスから発生するであろう不具合に備え、計画的な保守管理を行い、 所管課と連携した施設維持管理を行うこと。